

有機圧電デバイスを活用した電子聴診器の低価格化開発支援 および、臨床評価支援

■概要

2013年度～2015年度やまぐち産業戦略研究開発等補助金に採択され開発事業化した電子聴診器の改良および臨床評価を支援しました。

■医療機器の特徴

2019年に事業化した遠隔医療向け電子聴診器JPES-01の通常利用を想定した廉価モデルの開発をしました。販売において最大の障壁であったコストについて、JPES-01に比べて3分の1以下の価格を実現。利用者の嗜好に合わせやすい仕様になりました。

■支援の項目

- ①低コスト化改良のための機能絞り込みに関する技術支援
- ②臨床現場による評価支援（ユーザビリティ、デザイン）



電子聴診器JPES-02



Bluetooth搭載によって
市販ヘッドホンが利用可能
→利用者の好みで選択できる



シリコンカバー装着による多彩なカラーバリエーション

・商品名

J P E S - 0 2

・一般名称

電子聴診器（クラスⅡ：管理医療機器）

【管理医療機器認証番号】

第304AFBZX00052000号

・製造販売元 株式会社JPステート

【第二種管理医療機器製造販売業】

許可番号 04B2X10013

【医療機器製造業】

登録番号 04BZ200057

【医療機器販売業】

宮城県

【医療機器国際規格】

ISO13485:2016 認証取得

・発売日

2023年11月

■支援の成果

先に事業化したJPES-01は高性能・高機能で臨床現場の評価は高かったものの、高額になってしまったため販売数が限定的でした。本製品は、訪問看護業務に特化することで、遠隔医療向けの双方向通信機能を削除するなど、性能を絞り込むことで従来の1/3までコストダウンに成功しました。臨床現場のユーザビリティ評価の結果、小型・軽量化、デザイン、利便性にこだわった製品になりました。今後、山口県において心肺情報解析部の研究開発に着手する予定です。